

分科会名：地域エネルギー分科会



愛媛県中小企業家同友会の環境経営委員会メンバーを中心に設立。四国4県同友会の「四国連携環境を考える会」として四国内に再生可能エネルギーを広め、地域内の経済循環を生み出すことを目指しています。

LS四国登録年度：R3～

■基本情報

分科会の概要

- ・四国内の再エネ事例の調査。
- ・内子バイオマス発電所、高知での小水力発電、各地での営農型発電等を四国内に水平展開する。
- ・分科会メンバー及び一般市民向け再エネ学習会の実施。
- ・太陽光、小水力、バイオマス、バイオガス等、事業化に向けての発電方法の検討。
- ・検討を踏まえた再生可能エネルギーの事業化。
- ・地域電力会社の設立。

■分科会で目指す課題解決

私たちが目指す、四国への貢献。

- ・再エネの先行事例を調査することで、四国内の自然エネルギーの可能性を把握できる。
- ・学習会を実施することで、四国内の再エネに関する意識を高めることができる。
- ・調査だけではなく事業化を念頭に置いているため、CO2削減、地域経済循環等に関して確実な成果が期待できる。
- ・四国内のステークホルダーをつなぎ、情報共有ができる。
- ・いずれは四国を再エネの聖地に。

★運営体制

【代表者】株式会社平野 会長 平野啓三

【事務局】株式会社平野 森松千晴

【分科会メンバー】村田武、島田治男、平野啓三、菊間彰、森松千晴、山川光男、前田眞、滝口貴志、内藤昌典、堀内章、入岡利成、佐藤慎輔

■令和4年度 of 取組報告

【現在の進捗状況—2022年9月以降】

昨今の世界情勢によりパワコン不足や太陽光パネル等の資材高騰、新電力の破綻撤退など再エネをめぐる状況の激変をうけ、分科会活動は休止状態ですが、各取組の現状をお伝えします。

- ①今治乃万営農型発電所—発電は順調。しかし、パネル下の飼料米の収量が減り、米以外の作物への転用要検討。
- ②宇和島御槇小水力発電所(予定)—四電への系統契約済み、事業体のリーダー未決定。
- ③内子龍王バイオマス発電所—内子第2発電所として10月13日稼働。近隣の2施設へ熱供給(電気330kW/熱520kW)。急激な物価高が経営を圧迫。森林環境税の活用や銀行返済期間の延長など対策中。



内子龍王バイオマス発電所開所式。



内子龍王バイオマス発電所外観。

■分科会連絡先

事務局 株式会社平野 〒794-0028 愛媛県今治市北宝来町2丁目2-22
【E-mail】 e-doi@hirano-pharmacy.co.jp
【HP・SNS】 <https://www.hirano-pharmacy.co.jp/>